

○大沢野地域タウンミーティング議事録

日 時：令和7年8月2日（土）

午前10時から11時30分

場 所：大久保ふれあいセンター

出席者：29人

テーマ1 防災・安全で安心なまちづくりについて

<主な説明事項>

- 1 能登半島地震における富山市内の避難所開設状況
- 2 避難所の環境改善について
- 3 自主防災組織の取り組み
- 4 安全で安心なまちづくりに向けた取り組み

【防災危機管理部の説明に対する質問】

・①避難所での寒さ対策についての説明がありましたが、暑さ対策については、どのようなことを行っていますか。

②地震等の災害時に、水道管の破損があった場合、給水車の配置について優先順位はどのようになっていますか。

③四季防災館のリニューアルについて、進捗状況を教えてください。

④能登半島地震の際、朝市で火災が発生したことから、感震ブレーカーの普及推進に関する検討会等が開催されていると思いますが、進捗状況を教えてください。

（防災危機管理部長）

- ① 避難所開設における暑さ対策については、災害協定を締結している民間企業のリース業者が所有する大型扇風機を避難所に設置するほか、万が一の場合は、エア

コンが設置されている普通教室に避難スペースを設け、臨機応変に避難者を誘導するといった対策が必要であると考えています。今後も、猛暑での避難所開設について、小中学校を管理する富山市教育委員会と課題を共有し、対策を検討していきたいと思います。

② 給水車の配置については、避難者の状況を把握し、必要に応じて、給水車を管理する上下水道局と連携しながら、より早く被災者のもとへ水を届けることができるように努めたいと思います。

③ 四季防災館については、富山県が担当していますので、詳細は富山県へお問い合わせください。

④ 感震ブレーカーの普及推進については、消防庁において検討会議が開催されており、その検討内容を踏まえて、今年の3月に普及促進を図るよう通知があったところであります。これを受けて本市では、出前講座や自主防災組織リーダー研修等の機会を通して、市民への普及啓発に努めてまいります。

テーマ2 富山市の観光施策について

<主な説明事項>

- 1 観光の現状と動向
- 2 富山市の状況
- 3 富山市の観光施策

【商工労働部の説明に対する質問】

・金沢市や福井市に比べて、富山市はPR不足だと思います。八尾のおわらに関しては、年々観光客が減っていくと思います。越中八尾おわら保存会にもっと補助を出してはどうでしょうか。PRする方法としては、コンビニに垂れ幕を掲示する等の方法があると思います。柴田理恵さんも、「富山にはせっかく良い所がたくさんあるのに」と言っておられますが、富山の良い所が活かされておらず、このままで

は、敦賀に追い抜かれてしまうのではないかと思います。もっと、観光客に富山でお金を使ってもらう方法を考えてほしいです。

(商工労働部長)

・PRが足りてないことについては、今後もますますPRをしていくよう、取り組んでいきたいと思います。

・地元にある塩の千本桜は、広報とやまでも頻繁に紹介されていますが、富山市として、どのように管理されているのか教えていただきたいです。

(商工労働部長)

・塩の千本桜の管理については、定期的に害虫の駆除や伐採を行っています。先日も、公園緑地課の職員と地元住民の方の立ち会いのもと、調査を行いました。塩の千本桜については、富山市観光協会のホームページでも紹介しています。素晴らしい景観ですので、ぜひ多くの人に訪れていただけるよう、今後も引き続き、紹介していきたいと思います。

・富山市内の宿泊施設利用客からのアンケートは行っていますか。また、その結果を活かしていることはありますか。アンケートの内容を参考にして、良い方法を検討できると思うので、市が先頭に立って行えば良いと思います。

(商工労働部長)

・市としてのアンケートは行っていないですが、個々の宿泊施設に寄せられた利用客からのご意見については、旅館業者の集まり等で情報共有をしています。色々なご意見をいただいております、実際に取り入れています。

【その他意見交換】

・公園の遊具について、使用不可になっている所が多くあります。これは、安全優先という理由で行われた富山市の処理だと思っておりますが、地域の憩いの場となっている公園の遊具が、突然使用不可という理由でロープが張られており、子ども達も私の孫も唖然としてしまいました。いつから使用不可だったのか、事前に案内があったのかということが話題になり、右往左往しております。市長は、昨年から「こどもまんなか社会」を作っていくと言っていますが、ただ制限するだけではなく、使用不可とするならば事前案内や、いつまでに遊具を修理するか等、地域の皆さんにもっとメッセージを出していただきたいです。

(市長)

「こどもまんなか社会」は非常に大事なことであり、公園や遊び場も含めて、総合的に取り組みを進めています。公園の遊具が使用禁止になることや、いつ頃を目途に撤去や復旧をするのかといった情報をお伝えできていなかったのは、申し訳なかったと思っています。持ち帰って、地域の方にきちんと情報をお伝えするように、担当部局に伝えておきます。

皆さんに1つ考えていただきたいのは、人口減少で子どもの数が減っているということです。よって、富山市に約1,200箇所ある公園の遊具について、今後全てを維持管理し、更新していくことはできないという点を、ご理解いただきたいと思います。そうすると、どこに集約していくかを考えていくことになります。

今までも、富山市は町内会の公園でしたら、管理料を払い、草刈やゴミ拾い、砂場のメンテナンス等、色々なことをやっていただき、大中小いろいろありますが、市民の皆さんのおかげで、成り立っています。今後も、市民の皆さんと一緒に汗をかきながら維持管理をしていきたいという思いは、変わりありません。ただし、遊具に関しては、少子化社会・人口減少社会の中で、取り外していかねばならないという声も出てきます。このことを地域の皆さんと一緒に共有し、「どこの公園に集

約するのか」、「例えばこのエリアの場合、この公園にだけ遊具があれば良いのではないか」等、辛いことですが、これから考えていかねばならないと思っています。今後、市役所の方から相談させていただくことがあれば、厳しいご意見も含めて、ご忠告をいただければと思います。

・サル・イノシシ・クマといった野生動物の管理について質問したいです。LINEでクマ情報を配信していると案内がありましたが、「痕跡が確認できませんでした」という情報が入ると残念に思っています。頭数管理は、富山県で行っていると認識しています。

サルについては、大山地域でサルによる人身被害があった場合、駆除されるはずですが、そういった情報が入ってきません。サルが、学校のグラウンドで遊んでいる状況ですので、早急な対応をしてほしいです。クマについては、今年子グマとして確認されたものは、来年には成獣となり、この近隣で棲む可能性があるのではないかと思います。イノシシについては、何年も前から農作物の被害があるにも関わらず、電気柵以外の対策が見られないと思います。

今後、どのような対応になっていくのか知りたいです。特に学校周辺は、しっかり対策をとってほしいです。大山地域では何年も前から野生動物が出没していますが、何の対応もされていない状況だと思います。今後、大沢野地域で出没した場合、大山地域と同様に駆除してもらえないのではないかと、という印象を受けます。もっと対策をしてもらいたいです。

(市長)

おっしゃられたとおり、野生動物の頭数管理や生態の維持・管理については、富山県が行っています。富山市の役目は、県と協力しながら、猟友会の方による罾や猟銃を使った捕獲の支援、猟友会の会員を育てるお手伝い、罾や柵を設置する場合の助成等だと思います。

サルに関しては、住宅地や人の生活区域に群れで出没する場合や、群れで棲み付いている場合、全頭を捕獲させてほしいということを、富山県に強く要望しています。

イノシシについては、耐雪型の恒久柵という、十数年もつような、雪にも耐えるようなものと、電気柵との2つがあります。ヨーロッパ等では、避妊剤を混ぜたエサをまくという方法を行っていますが、日本では認められていません。ですから、現在できる対策として、電気柵、罠による捕獲、環境管理という3つの対策を行っています。被害額については、農家の皆さん等のご努力によって減ってきています。しかし、被害があることは事実ですので、しっかり対応していきたいと思います。

クマについては、大沢野でも多く出没しており、本当に危ないです。昔は捕獲して山奥に返すという方法を行っていましたが、現在は捕獲して駆除する方針になっています。1度人里におりてきたクマはそのまま棲み付くわけですから、山奥に返してもまた戻ってきますので、捕獲して駆除させていただきます。住民の皆さんの切実な声が届いていますので、県と協力し、猟友会の方の力も借りながら、対応していきたいと思います。一方で、自然保護団体からは「なぜ駆除するのか」という苦情がきていますが、地域住民の皆さんの命が1番大事ですので、しっかりと対応したいと考えています。

・①今日配布されたハザードマップについてですが、自宅にも数年前に配布されており、久しぶりに改めて見たところ、残念なことに、住宅地図について、我が家は凡例の記載と重なって見えなくなっています。これは、市の対応として「ここの地域の住民はどうでもよい」と言われているようで、とても悲しく残念に思います。凡例の表記は大事なことですが、なぜ、危険な場所がある地域にわざわざ重ねて載せる必要があったのでしょうか。今後作成する際は、もっと配慮してほしいです。
②先日、船嶺地区で自治会主催の防災講座が行われました。段ボールベッドの組立を体験したいという意見があり、どこかで借りることができないかという話になっ

たので、富山市へ確認したところ、貸出用はないとの回答でした。せっかくの防災講座なので、やはり組み立ててみたいという声があり、市社会福祉協議会から助成金をいただき、段ボールベッド4台分をサクラパックスから購入しました。防災講座で実際に見たり組み立てたり体験してもらったところ、参加した皆さんからは「実際に体験してみるのは全然違う」というご意見がたくさん寄せられました。

防災組織はたくさんあり、講座等もたくさん開催されているとは思いますが、富山市として貸出用を少しでも準備していただけたら良いと思います。

(市長)

① おっしゃる通りだと思います。注意箇所や凡例を載せる位置について、今後は気を遣っていかなければならないと思います。一方で、白抜きの部分については、災害の想定にない地域もありますので、その点をご理解いただきたいと思います。自分が住んでいる場所が文字や囲み等の下敷きになって見えないのはどうしてだというご意見はおっしゃる通りだと思いますので、次回作成する際は、いただいたご意見を活かして、気をつけて作成したいと思います。

② ごもったもなご意見だと思います。サクラパックスは、ボランティアで防災講座を行い、段ボールベッドを使用して無料で講習会等を行っておられます。段ボールベッドだけでなく、災害用の段ボールトイレなど、他の商品も取り扱っておられます。民間企業に来てもらって地域で防災講座を開催する等、民間企業の力を借りることはとても良いことだと思います。

富山市としては、段ボールベッドについて「貸出用がない」という回答のみで対応を終了してしまったことは、大変心外です。せめて、サクラパックスを紹介して取り次ぐといった助言をする等、市民に寄り添った対応が必要だったと思います。民間企業で防災関連のグッズを扱っているところや無料で防災講座を行っているところがありますので、今後は、紹介する対応を充実させていきたいと思います。

ちなみに、大沢野行政サービスセンター別館では、いざという時に使うためのものではありませんが、段ボールベッドをストックしています。

(防災危機管理部 防災課長)

段ボールベッドについては、市内企業から寄付されたものと、富山市で購入したものを、大沢野行政サービスセンター別館で約500個保管しています。段ボールは湿気に弱いので、傷まないように気をつけて保管しています。段ボールベッドは、1回組み立てると再利用ができないことから、備蓄しているものを体験用に使用することは難しいですが、今後はサンプルとして使用できるものを準備する等、検討していきたいと思います。

・寺家公園についてお願いがあります。ご存じのとおり、大正時代、ある家の方が自分のお金で寺家公園を作られ、その後は町の管理になり、現在は市の管理となっていると思います。昨今、松の木が大きくなり、素晴らしい石垣が一部崩れたり、崩れそうになったりしています。そのため、以前、寺家町内会長さんとタッグを組み、要望を出す等の運動をしたことがありました。新聞社が取材に来て、特集を組む話まで出ていましたが、担当者異動のため、実現はしませんでした。

大きな松の木ですので、地元住民の力で伐採することは、危険であり不可能です。今も、危ない状態のものが何本かあります。費用がかさむかもしれませんが、伐採するための予算をつけていただきたいです。要望は出していますが、「枯木の全てを一度に伐採する費用はなかなかない」という回答でした。私たちは、寺家公園等を利用して、色々な催し物を行っています。安全面のみでなく、景観や観光の面でも、活用するためには、危なくないように、配慮をお願いしたいです。

市からは、環境整備のために予算をいただいているようですが、それで賄うには足りない金額です。実際には、大正時代に寺家公園を作ったお家のご子孫が、県内に住んでおり、90歳近くになっても、過去には毎年自分のお金を寄付していただい

ており、何とか一般的な整備をしている状況です。いつまでもボランティアに頼るのではなく、しっかりと予算をつけていただきたいです。地元の住民も、お手伝い等できることをやりたいと思っております。

(市長)

寺家公園の維持管理については、地元の皆さんにも参加していただいております、心から感謝申し上げます。私も何度か訪れたことがあり、本当に良い場所だと認識しています。松の木の話ですが、要望があったことを担当から聞いています。気をつけてチェックしていると思いますが、さらに危ない状態になりつつあるということですから、早急に調査をしたいと思えます。担当課から相談に伺うことがありましたら、どの部分について対応が必要なのか等、ご指導いただきますようお願いいたします。

・①旧大久保中学校のグラウンドの草刈についてですが、先日、富山市スポーツ協会にきれいにしてもらいました。聞いたところ、草刈は1年に3回しか行われなそうです。私も1人で草刈をしてきました。学校関係、スポーツ協会関係には、もっと動いてもらいたいです。

② 水橋では、来年の春には小中学校が統合されますが、今になって、今ある小中学校の校舎を今後どのように活用するのかということについて、住民へ意見を求められているそうです。このことは、統合することが決まってからではなく、統合する前に地域住民から意見を聞くべきだと思います。上条小学校については、耐震工事をしていたはずですが、統合してしまうことになったため、税金の無駄遣いではないでしょうか。

③ 私の家の向かい側には空き家があり、10年前からずっと、私が草刈をしています。私が空き家の草刈を行うと、家宅侵入になってしまうと言われたことがあります。

ますが、それでは誰が草刈を行うのでしょうか。富山市内には空き家がたくさんあります。現実を踏まえて、対応を考えてほしいです。

(市長)

いただいたご意見は、どれも大切なことだと思います。しっかり持ち帰って、話をしていきたいと思います。

② 水橋では、「水橋学園」として1年生から9年生までが通う義務教育学校ができる予定です。9年制の学校は、富山市では初めてです。防災機能も充実していますし、1年生から9年生までいるため、精神的な部分も含め色々な教育ができ、私たちも地元住民の皆さんも期待しています。

一方で、旧小中学校の活用については、水橋は土地利用上の様々な制限がある地域ですので、空いた校舎の利用についても、何にでも使えるというわけではなく、制限があります。体育館や避難所としての機能は残さなくてはなりません。地区センターや集会所としての機能も、もちろん残す必要があります。その他の部分についてどのように活用していくか、方向性を確認していく一環として、住民の皆さんからのご意見をいただいているところですので、ご理解いただきたいと思います。お子さんの数が減り校舎やスペースに空きが出てくることは事実ですので、土地利用・維持管理について、地域住民の皆さんにしっかりと事前に情報を提供したり意見を伺ったりする等のコミュニケーションをとりながら、丁寧に進めていきたいと思っています。

※発言の一部を整理して掲載しています。(広報課)